

飯島周（1930-2020）先生 主要業績一覽

【A. 著書】

(単著)

飯島周『カレル・チャペック 小さな国の大きな作家』平凡社新書、2015年、全279頁。

(編著)

飯島周・小野裕康・ブルナ・ルカーシュ編『チャペック兄弟とその時代 カレル・チャペック誕生125周年、ヨゼフ・チャペック没後70周年記念論文集』日本チェコ協会・日本チャペック兄弟協会、2017年、全178頁。

【B. 論文】

- 「On some problems in linguistic description」『跡見学園女子大学紀要』(2)、1969年、27-34頁。
- 「言語構造の acceptability について」『跡見学園女子大学紀要』(4)、1971年、1-10頁。
- 「言語生成記述の一方法について」『跡見学園女子大学紀要』(6)、1973年、43-52頁。
- 「文要素配列に関する一考察」『跡見学園女子大学紀要』(7)、1974年、1-8頁。
- 「カレル・チャペックと『イギリスだより』」『ゆべにりあ』(5)、1976年、19-38頁。
- 「A Note on the Rheme and Rhematization」『跡見学園女子大学紀要』(10)、1977年、1-10頁。
- 「伝達動力について」『跡見学園女子大学紀要』(13)、1980年、130-120頁。
- 「ブラウン神父とメイズリーク警部 又はG. K. チェスタートンとK. チャペック」『ゆべにりあ』(9)、1980年、68-76頁。
- 「日本語における終結詞「ダ」の機能について」『跡見学園女子大学紀要』(14)、1981年、230-219頁。
- 「プラハが生んだ二つの顔 カフカとハシェク」『ゆべにりあ』(11)、1982年、89-101頁。
- 「機能的文構成における焦点化について」『跡見学園女子大学紀要』(16)、1983年、1-12頁。
- 「V・マテジウスの英文学研究 そのシェイクスピア論を中心として」『ゆべにりあ』(12)、1983年、33-41頁。
- 「ばらと涙の詩人ヤロスラフ・サイフェルト」『跡見学園女子大学紀要』(18)、1985年、49-61頁。
- 「プラハ言語学サークルの第10テーゼ」『跡見学園女子大学紀要』(21)、1987年、9-19頁。
- 「いわゆる国際英語について」『跡見英文学』(1)、1987年、1-12頁。
- 「プラハ言語学サークルの第3テーゼ」『跡見学園女子大学紀要』(21)、1988年、11-25頁。
- 「現実的国際語としての英語の一面：エスペラント語と関連して」『跡見英文学』(2)、1988年、1-12頁。
- 「V. Mathesius の機能的文構成における2,3の基本的概念について」『跡見学園女子大学紀要』(23)、1990年、17-31頁。

- 「プラハ言語学サークルの第1、第2 テーゼ」『跡見学園女子大学紀要』(26)、1993年、1-10頁。
- 「人間の魂の価値 カレル・チャペックの哲学3部作」『ユリイカ』27(12)、1995年11月号、268-271頁。
- 「サウイモノニワタシハナリタイ 日本語の語順と宮沢賢治の文章」『言語』26(6)、1997年6月号、90-96頁。
- 「Estuary Englishの可能性」『跡見英文学』(12)、1998年、1-9頁。
- 「「会話の文法」に関する一考察 Longman Grammar of Spoken and Written Englishの場合」『跡見英文学』(13)、1999年、15-22頁。
- 「プラハ言語学サークルの第9 テーゼ」『跡見学園女子大学紀要』(33)、2000年、49-55頁。
- 「プラハ言語学サークルの第4、5、6、7、8 テーゼ」『跡見学園女子大学紀要』(34)、2001年、1-9頁。
- 「作家としてのヨゼフ・チャペック」、飯島周・小野裕康・ブルナ・ルカーシュ編『チャペック兄弟とその時代 カレル・チャペック誕生125周年、ヨゼフ・チャペック没後70周年記念論文集』、日本チェコ協会・日本チャペック兄弟協会、2017年、125-134頁。

【C. 翻訳】

- アントニーン・J・リーム『三つの世代』みすず書房、1970年、全302頁。
- ヤン・ネルダ「没落した物乞いの話」、高橋勝之・直野敦・吉上昭三編『世界短編名作選 東欧編』新日本出版社、1979年、71-81頁。
- ヴィレーム・マテジウス著、ジョセフ・ヴァヘク編『機能言語学 一般言語学に基づく現代英語の機能的分析』桐原書店、1981年、全254頁。
- F. R. パーマー『英語の法助動詞』桐原書店、1984年、全269頁。
- ヤロスラフ・サイフェルト『ヴィーナスの腕』桐原書店、1986年、全126頁。
- ヤロスラフ・サイフェルト『マミンカ おかあさん J・サイフェルト詩集』恒文社、1989年、全86頁。
- ヤロスラフ・ハシエク『ハシエク風刺短篇集』大学書林、1989年、全221頁。
- バーツラフ・ハベル『ピロード革命のこころ チェコスロバキア大統領は訴える』千野栄一共訳、1990年、岩波ブックレット (No.158)、全69頁。
- ヴァーツラフ・ハヴェル「人間の主体性の危機」『みすず』32(4)(349)、1990年4月号、18-20頁。
- カレル・チャペック『K. チャペック小品集』大学書林、1990年、全233頁。
- ヴァーツラフ・ハヴェル『反政治のすすめ』飯島周・関根日出男・石川達夫訳、恒文社、1991年、全301頁。
- J. プラット〔ほか〕『新英語の実相』松柏社、1991年、全267頁。
- カレル・チャペック『いろいろな人たち チャペック・エッセイ集』平凡社ライブラリー、1995年、全325頁。
- カレル・チャペック『ホルドゥバル チャペック小説選集第3巻』成文社、1995年、全216頁。

- ヴァーツラフ・ハヴェル『プラハ獄中記 妻オルガへの手紙』恒文社、1995年、全623頁。
カレル・チャペック「イギリスだより」飯島周訳、『ユリイカ』27(12)、1995年11月号、
250-267頁。
- カレル・チャペック『流れ星 チャペック小説選集第4巻』成文社、1996年、全228頁。
カレル・チャペック『未来からの手紙 チャペック・エッセイ集』平凡社ライブラリー、
1996年、全266頁。
- カレル・チャペック『チェコスロヴァキアめぐり カレル・チャペック・エッセイ選集第
1巻』恒文社、1996年、全236頁。
- カレル・チャペック『イギリスだより カレル・チャペック・エッセイ選集第2巻』恒文社、
1996年、全260頁。
- カレル・チャペック『犬と猫 カレル・チャペック・エッセイ選集第3巻』恒文社、1996年、
全240頁。
- カレル・チャペック『平凡な人生 チャペック小説選集第5巻』成文社、1997年、全224頁。
カレル・チャペック『園芸家の一年 カレル・チャペック・エッセイ選集第4巻』恒文社、
1997年、全229頁。
- カレル・チャペック『スペイン旅行記 カレル・チャペック・エッセイ選集第5巻』恒文社、
1997年、全236頁。
- カレル・チャペック『新聞・映画・芝居をつくる カレル・チャペック・エッセイ選集第6
巻』恒文社、1997年、全285頁。
- ヤロスラフ・サイフェルト『この世の美しきものすべて』飯島周・関根日出男訳、恒文社、
1998年、全667頁。
- ヨゼフ・チャペック『人造人間 ヨゼフ・チャペックエッセイ集』平凡社ライブラリー、
2000年、全187頁。
- ヤロスラフ・サイフェルト『新編ヴィーナスの腕 J・サイフェルト詩集』成文社、2000年、
全158頁。
- ヤロスラフ・ハシェク「犯罪者たちのストライキ」、小原雅俊編『文学の贈物 東中欧文学
アンソロジー』未知谷、2000年、181-190頁。
- ヤロスラフ・ハシェク『不埒な人たち ハシェク風刺短編集』平凡社、2002年、全266頁。
カレル・チャペック『こまった人たち チャペック小品集』平凡社ライブラリー、2005年、
全276頁。
- ヨゼフ・ラダ『どうぶつだいすき』平凡社、2005年、全62頁。
- イジー・ヴォルケル「愛の歌」、飯島周・小原雅俊編『ポケットのなかの東欧文学 ルネッ
サンスから現代まで』成文社、2006年、198-208頁。
- カレル・チャペック『イギリスだより』（カレル・チャペック旅行記コレクション）、筑摩
書房（ちくま文庫）、2007年、全254頁。
- カレル・チャペック『チェコスロヴァキアめぐり』（カレル・チャペック旅行記コレクション）、
筑摩書房（ちくま文庫）、2007年、全234頁。
- カレル・チャペック『スペイン旅行記』（カレル・チャペック旅行記コレクション）、筑摩

- 書房（ちくま文庫）、2007年、全255頁。
- カレル・チャペック『園芸家の一年』恒文社、2008年、全229頁。
- カレル・チャペック『北欧の旅』（カレル・チャペック旅行記コレクション）、筑摩書房（ちくま文庫）、2009年、全301頁。
- カレル・チャペック『絶対製造工場』平凡社（平凡社ライブラリ）、2010年、全287頁。
- カレル・チャペック『オランダ絵図』（カレル・チャペック旅行記コレクション）、筑摩書房（ちくま文庫）、2010年、全158頁。
- ボフミル・フラバル『嚴重に監視された列車』（フラバル・コレクション）、松籟社、2012年、全118頁。
- カレル・チャペック『園芸家の一年』平凡社ライブラリ、2015年、全235頁。
- ヨゼフ・チャペック『ヨゼフ・チャペックエッセイ集』平凡社ライブラリ、2018年、全277頁。
- ヤロスラフ・ハシエク『不埒な人たち ハシエク短編集』平凡社ライブラリ、2020年、全378頁。

【D. その他】

- Noam Chomsky: *Language and freedom*. Edited with notes by Itaru Iijima. Kirihara Shoten, 1976.
- 「第三のミレナ像」『月刊百貨』（平凡社）（178）、1977年7月号、44-45頁。
- 「人造人間と強制収容所 ヨゼフ・チャペック生誕百年」『みすず』29(7)(319)、1987年8月号、40-46頁。
- 「カレル・チャペック年譜」『ユリイカ』27(12)、1995年11月号、88-91頁（石川達夫・阿部賢一と連名）。
- 「新座の勝手書き ムクドリからカラスへ」『跡見英文学』（14）、2000年、1-6頁。
- 「さまざまなヨーロッパ」『跡見英文学』（15）、2001年、135-160頁。
- 「エッセイ・クラブ本の効能」『英文学』（83）、2002年、143-145頁。